

平成 30 年 6 月 21 日現在

機関番号：26401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26463504

研究課題名(和文) 訪問看護ステーションにおける災害時初期対応ガイドラインと教育プログラムの開発

研究課題名(英文) Development of initial disaster response guideline and educational program at visiting nursing station

研究代表者

森下 安子 (MORISHITA, Yasuko)

高知県立大学・看護学部・教授

研究者番号：10326449

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：訪問看護ステーション災害初期対応ガイドラインの要素として、『災害への備え』『災害時における自己の安全確保』『ステーションスタッフの安全確認』『利用者と安全確認と緊急対応のトリアージ』があり、19の活動内容が明らかになった。その結果をもとに、必要な知識、判断・決断内容・行動内容が含まれた、訪問看護師版「災害時初期対応ガイドライン」と、「災害時初期対応教育プログラム」を開発した。

研究成果の概要(英文)：Visiting Nursing Station As elements of the Disaster Initial Response Guidelines, there are "Disaster Preparedness", "Safety of Self in Disaster" "Confirmation of Safety of Station Staff", "Triage of Users and Safety Confirmation and Emergency Response", 19 The content of the activity became clear. Based on the results, we developed a visiting nurse edition "Initial Response Guidelines for Disasters" and "Initial Correspondence Education Program for Disasters" that contain necessary knowledge, judgment / decision content and action content.

研究分野：高齢者看護学及び地域看護学関連

キーワード：訪問看護 災害時初期対応 災害看護教育

1. 研究開始当初の背景

災害時は、訪問看護ステーション利用者(以下利用者)の大部分を占める要介護高齢者や、人工呼吸器装着中や在宅酸素療法中など医療ニーズの高い療養者が、避難が遅れ死亡する割合が高いことが、報告されている。災害発生時、利用者が早く安全に避難するなど安全な場所を確保するために、訪問看護師の初期対応は非常に重要である。

現在、災害対策マニュアルが公表されているが、現在のマニュアルのみでは実用性は低く、非常事態の中、どのようにスタッフと連絡をとり、スタッフの安全も確保しながら限られたスタッフを駆使して、どのように利用者の安全で適切な場所を確保する、あるいは移動させていくかという、初期対応に特化したガイドラインの作成が重要である。また、予期せぬ災害に遭遇した時に、高い判断力・決断力・機動力を発揮するためには、様々な被害状況を模擬的に作り、その対応のための訓練を組み込んだ内容を取り入れた教育プログラムを開発し、訪問看護師教育に取り入れること必要性がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、訪問看護師が、災害という非常事態の中で、訪問看護師が判断力・決断力・機動力を発揮し、要援護者である利用者にとって安全で適切な療養場所を可能な限り早く確保することができる「訪問看護ステーション災害時初期対応ガイドライン」を作成する。そして、ガイドラインをもとに、様々な被害状況を模擬的に作り、その対応のための机上訓練等を取り入れた「訪問看護師版：災害時初期対応教育プログラム」を開発することである。

3. 研究の方法

(1) 訪問看護師へのインタビュー、災害対応マニュアルの分析より「訪問看護ステーション災害時初期対応ガイドライン」に必要な構成要素と活動項目を抽出した。

(2) 訪問看護ステーション災害初期対応ガイドラインに必要な構成要素と活動項目の信頼性と妥当性を検証するために、災害看護のエキスパートにインタビューを行なった。

(3) 訪問看護ステーション災害初期対応ガイドラインに必要な構成要素と活動項目の信頼性と妥当性を検証するためにアンケート調査を行った。アンケートは、全国訪問看護事業協会の会員として登録されている訪問看護ステーション 600ヶ所の中、同意の得られた 130ヶ所を対象に行った。

(4) その結果より、ガイドライン(案)と、教育プログラム(案)を作成し、災害看護の研究者、訪問看護ステーション管理者などとフォーカスグループインタビューにより内容を洗練化した。

4. 研究成果

(1) 訪問看護ステーション災害時初期対応ガイドラインに必要な構成要素と活動項目について文献ならびに訪問看護ステーションが作成したマニュアルから抽出した。その結果、災害時初期対応ガイドライン構成要素として、『災害への備え』『災害時における自己の安全の確保』『ステーションスタッフの安否確認』『利用者等の安否確認と緊急対応のトリアージ』『緊急対策：生命の確保』『他機関、他職種との調整』があった。活動項目には、『災害への備え』に、「マニュアル作成」「災害教育・訓練」「利用者の優先度の判断」「ステーション内の減災への環境整備」「看護職自身の備え」があった。『災害時における自己の安全の確保』には、「災害状況の把握」「安全確保行動」があった。『ステーション・スタッフの安否確認』には、「スタッフとその家族被災状況の集約」「ステーションの被災状況のアセスメント」があった。『利用者等の安否確認と緊急対応のトリアージ』には、「スタッフの役割分担」「身体的被災状況の把握」「家族の身体的被災状況の把握」「ライフライン、家屋内の被災状況の

把握」「緊急搬送、施設搬送のトリアージ」があった。『緊急対策：生命の確保』には、「日常生活の維持」「急性増悪の予防」「治療継続への支援」があった。『他機関、他職種との連携協働』には、「情報交換」「支援体制の調整」があることが明らかになった。

(2) 訪問看護ステーション災害初期対応ガイドラインに必要な構成要素と活動項目の信頼性と妥当性を検証するために、災害看護のエキスパートにインタビューを行い、洗練化を行なった。その結果、要素と活動項目のネーミングについて一部見直しを行なった。その結果、訪問看護ステーション災害初期対応ガイドラインの要素として、『災害への備え』『災害時における自己の安全確保』『ステーションスタッフの安否確認』『利用者との安否確認と緊急対応のトリアージ』があった。4つの要素ごとの活動内容として、『災害への備え』には、「マニュアル作成」「災害教育・訓練」「利用者の初期優先度の判断」「ステーション内の減災への環境整備」「看護職自身の備え行動」があった。『災害時における自己の安全確保』には、「災害状況の把握」「安全確保行動」があった。『ステーションスタッフの安否確認』には、「スタッフとその家族の被災状況の集約」「ステーションの人的物的被災状況の Assessment」があった。『利用者との安否確認と緊急対応のトリアージ』には、「スタッフの役割分担」「身体的被災状況の把握」「家族の身体的被災状況の把握」「ライフライン、家屋内の被災状況の把握」「緊急搬送、施設搬送のトリアージ」があった。『生命の確保』には、「生命を維持する生活の維持」「急性増悪の予防」「治療継続支援」があった。『多機関他職種との調整』には、「他職種との情報交換」「支援体制の調整」となった。

(3) 訪問看護ステーション訪問看護師に、各活動項目の必要性について、アンケート調査を行なった結果、すべての項目において、

「非常に必要である」「必要である」と回答した者が80%以上であった。

(4) その結果をもとに、地震災害における初期対応時に必要な知識、判断・決断内容・行動内容が含まれた、「訪問看護師版：災害時初期対応ガイドライン」を作成し、災害時にガイドラインにもとづいて行動していく上で必要な教育内容を抽出し、「訪問看護師版：災害時初期対応教育プログラム」を開発した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

森下 安子 (MORISHITA, Yasuko)
高知県立大学・看護学部・教授
研究者番号：10326449

(2) 研究分担者

川上 理子 (KAWAKAMI, Michiko)
高知県立大学・看護学部・准教授

研究者番号： 60305810

大川 宣容 (OOKAWA, Norimi)
高知県立大学・看護学部・教授
研究者番号：10244774

小原 弘子 (KOHARA, Hiroko)
高知県立大学・看護学部・助教
研究者番号：20584337

森下 幸子 (MORISHITA, Sachiko)
高知県立大学・看護学部・特任准教授
研究者番号：40712279

(3)連携研究者
なし

(4)研究協力者
なし